

4月のブルーベリー農園その2（東広島市豊栄町）

4月も半ば。農園では姿は見えないがキジがしきりにケンケンと鳴いている。10日の土曜日は夕方家族を

帰らせて、一人農園に泊まることにした。11日の農園は霜が降りていて寒い朝だった。今春最後の冷えと霜かも知れない。ブルーベリーの剪定をひたすら続けている。



4月10日（土）里山のブルーベリー園周辺でヤマツツジが咲きだした。いつもバッサリ切って持ち帰り飾る。



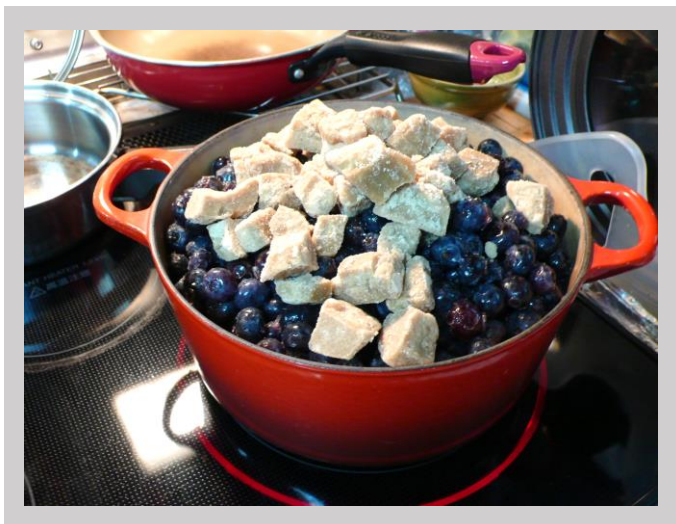
ブルーベリーの花芽と新芽にも霜がついている。



4月11日（日）は一人前日から農園に泊まり込んだので朝の農園の様子を見回る。ブルーベリー畑は霜が降りている。



朝日を受けて野の花のカキオドシや



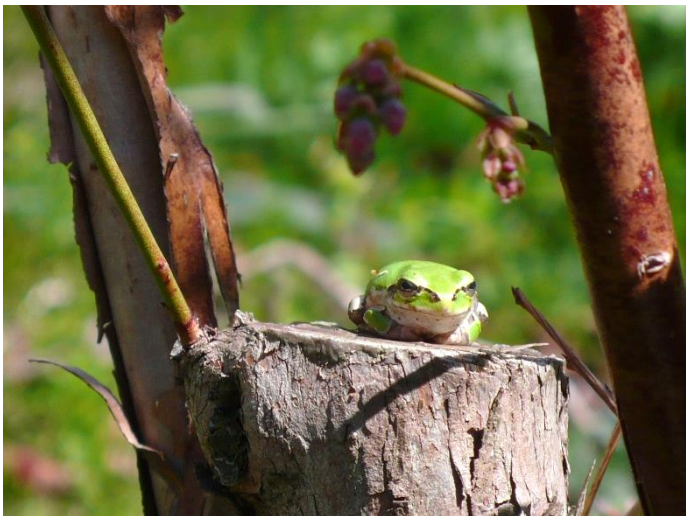
ソラマメの花や



石垣のスマイレも色合いが凛々しい。



ブルーベリーの剪定の前に1時間ほど畑の富有柿の剪定をした。上に伸びている枝ばかり残した。たくさん実がついてほしいが。



畑のブルーベリーの剪定を始める。木の向こうに座っているアマガエルと目が合う。寒い朝だったので日向ぼっこで温まるのを待っているのかじいーとしている。



剪定場所は3段ある畑の真ん中の段に取りかかっている。午後からは気温が上がり青空が広がる。



剪定が遅れているので4月14日(水)にも農園に行った。下から見上げるとブルーベリーの枝にぶつぶつと花芽がついているの見える。



1株からたくさんの花が咲いているのはスマイレ。花は小さいが見飽きない。野で観るに限る。

2021年4月15日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良

《2021年4月15日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載》